新しい発想とモチベーションを見つける機会として

技能と専門性を深める実践を目指して

介護に携わる全ての人のための11講座

介護の学校

今ある価値に気づくために

確かな自信を得るために

私たちの『当たり前』は『特別』でできている

あなたの疑問に答える11講座

お申し込みは8/19まで

2019 8/24（土） 9:00～17:00（開場 8:30）

対象：介護従事者、一般　　受講料：3,000円

［主催］八戸学院大学短期大学部介護福祉学科

［助成］公益財団法人 青森学術文化振興財団

［お問い合わせ］TEL：0178-25-4411　http://jc.hachinohe-u.ac.jp

八戸学院大学短期大学部

基調公演

日本ヒューマンヘルスケア研究所 所長
中村裕子 先生

『介護コミュニケーション』の基礎と臨床
―意思疎通の困難な人との対応に必要な視点と実践の技術―

介護の学校「私たちの『当たり前』は、『特別』でできている」

2019年8月24日（土） 時間　9：00 ～ 17：00（開場 8：30）

対象者：介護従事者、一般　**受講料：**3,000円　**Web：**http://jc.hachinohe-u.ac.jp/

会場：八戸学院大学 8号館　**住所：**青森県八戸市美保野 13-384　**TEL：**0178-25-4411

開催にあたって　～介護福祉学科開設記念　「介護の学校」の新たなスタート！！～

介護の仕事は、利用者の一人ひとりの生活を支える仕事です。生活は時にあたり前で、毎日が何気なく過ぎていきます。しかし介護専門職者は、ケアを必要としている人に対し、専門職性を発揮しつつ自己の能力をフル稼働させ支援し、そしてそこには、自由な発想とモチベーションが必要不可欠です。

しかし、多忙を極める業務の中では、自己の振り返りや、未来を思い描きながらチャレンジする意欲を欠き、全身で「利用者」に向き合うことが難しくなることもあるのではないでしょうか。本研修会は、「自身の思いや実践を振り返る」、「人とつながる」、「新たな知恵を蓄える」ことを通して、改めて自身の専門性と向き合い、利用者と共に創る介護実践に向けた時間としたいと考えています。

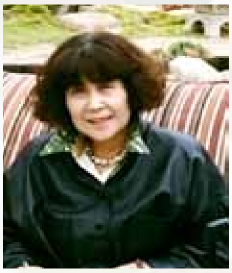
プログラムスケジュール

1時限目　（9：00 ～10：30）基調講演

『介護コミュニケーション』の基礎と臨床

―意思疎通の困難な人との対応に必要な視点と実践の技術―

中村裕子　（株）日本ヒューマンヘルスケア研究所 所長
医学博士　前聖隷クリストファー大学大学院教授
保健学修士　元仙台白百合女子大学人間学部教授



東北大学医学部神経内科入局(1978~1993)、1989 年東北大学医学部にて医学博士号取得、米国 UCLA 医学部行動神経学ベンソン教室留学 (1980~83)、帰国後、東北大学医学部付属病院神経内科にて失語症外来・認知症外来担当。1993 年東京大学医学系大学院 (国際保健学) 博士前期課程入学、保健学修士号取得、続いて後期課程進学、所定単位取得満期修了 (~1999)。仙台白百合女子大学 (介護福祉専攻) 教授 (1996~2009)、聖隷クリストファー大学社会福祉学部教授・大学院教授 (介護福祉領域、2009~2015) を経て、現在 (株) 日本ヒューマンヘルスケア研究所代表取締役・所長。

現在、我が国の介護関連施設の入所者の約 7~8 割が認知症高齢者であるといわれ、2025 年には認知症高齢者が約 700 万人と予測されることから、介護専門職が担当する利用者の殆どが “意思疎通に問題を抱えている” 状況にあることが理解される。
従って、介護職で唯一国家資格を有する “介護福祉士” が、真に介護現場で専門性を発揮するには、これら意志疎通の難しい利用者との『コミュニケーションを可能にするための技術』を身に付けることが、喫緊の課題であるように思われる。よって、本講義では、意思疎通が困難となる理由を” 脳科学の視点 “から見つめ、それらに対応したコミュニケーション技術の体系について、具体的実践に向けて御紹介したいと考える。

2時限目（10:40～11:50）

第2分科会「利用者の尊厳とユマニチュード実践 ×ＡＩ」
坂根 裕（エクサウィザーズ）

第3分科会「知って得する！スウェーデンからの贈り物 “タクティール® ケア “」
木本 明恵（日本スウェーデン福祉研究所）

第4分科会「ＶＲから見る共感のかたち」
山田 隆徳 （介護老人保健施設しもだ）

3時限目（12:40～13:50）

第5分科会 「不動産と介護事情」
齊藤 正志 （（株）サムコーポレーション）

第6分科会 「今日の感動を明日の常識にする」
張間 翔（（株）ミライフル）

第7分科会 「裂き織の技術継承と障がい者雇用」
石頭 悦（幸呼来 Japan）

4時限目（14:00～15:10）

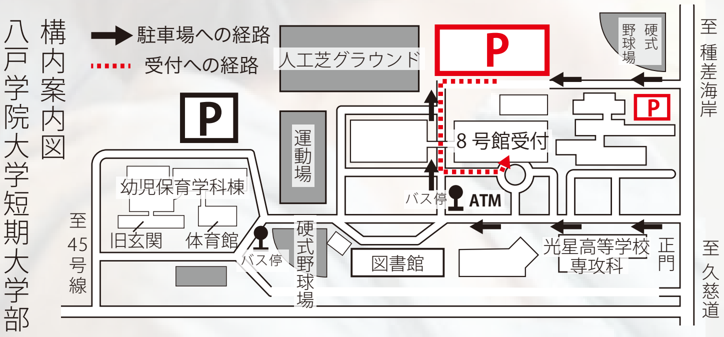
第8分科会 「利用者を解釈するための Ｐ.Ｅ.Ｉ.Ｐ.（観察・確認視点）を学ぶ」
篠崎 良勝（城西国際大学）

第9分科会 「介護入居者の眠りの見える化による 介護と睡眠の改善」
名古屋 祐平 （パラマウントベッド（株））

第10分科会「スポーツチャンバラを通じたレクリエーションの展開」
吉田 健志（青森県スポーツチャンバラ協会）

5時限目（15:20～17:00）特別講演

第11分科会「聞き書き的アプローチ、 聞いて、知って、好きになるケア」
佐藤 元美 （一関市国民健康保険藤沢病院 事業管理者）



【JR 駅からのアクセス】
JR 東北新幹線、八戸線「八戸駅」から車で約 30 分
JR 八戸線「本八戸駅」から車で約 20 分
JR 八戸線「鮫駅」から車で約 15 分

【バスご利用の場合】
「八戸駅」から<A27>八戸学院大学行きで約 30 分

【その他】久慈道種差海岸階上岳 IC から車で約 5 分
八戸 IC から車で約 20 分八戸フェリー埠頭から車で約 25 分
三沢空港から車で約 50 分